



高崎健康福祉大学

* 実務事前学習Ⅰ 4年生前期

＜講義目標＞ 卒業後、薬剤師として医療に参画できるようになるため、5年次の病院実務実習、薬局実務実習に先立って、講義・演習を通して、処方せん調剤及び服薬指導等の薬剤師業務を理解する。

* 実務事前学習Ⅱ 4年生前期、後期

＜講義目標＞ チーム医療を行うにあたり、医療における記録方法に慣れ、共通の考え方を身につける。

また、薬剤師として特に気をつけることを理解し、実践できるようにする。

* 模擬薬局実習 4年生後期

＜講義目標＞ 医療現場で実務実習を行うに必要な基本的知識、技能および態度を再確認する。

＜到達目標＞ 調剤、製剤、服薬指導などの薬剤師業務に必要な基本的知識、技能、態度を習得する。

＜模擬薬局実習の講義計画＞

1. 患者の存在を念頭に置いた薬剤師の倫理観、責任を概説できる。
2. 処方せん受付時における患者対応及び処方せん記載事項などが概説できる。
3. 処方せん記載内容の監査、疑義照会、薬袋作成などについて概説できる。
4. 計数調剤、計量調剤について概説できる。
5. 注射剤の計数調剤、調製などについて概説できる。
6. 調剤薬の最終鑑査について概説できる。
7. 調剤薬を患者に交付する際の服薬指導と面談などについて概説できる。

＜抗がん薬注射薬調製実習＞

Hazardous Drug に対する医療現場における取り扱いの注意点について概説できる。

抗がん薬を安全に取り扱うためには専用の調製器具を使用することが推奨されていることから、実務実習先で最も多く採用されている調製器具を用いた抗がん薬調製に関する実習を取り入れている。

＜吸入薬の服薬指導実習＞

吸入薬の使用方法について概説できる。

ドライパウダーとエアゾールの練習用デバイスを用い吸入薬の基本的な操作を学習し、服薬指導上の注意について学習する。

